

令和6年度滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会次第

令和7年2月13日(木)

10時～12時

安土城考古博物館 1F 会議室

1 開 会

2 報告事項

(1) 前回(令和5年度)運営懇話会における意見とその対応状況について

(2) 令和6年度事業の実施状況について

(3) 令和7年度事業計画(案)について

3 その他

安土城考古博物館のリニューアルについて

4 閉会

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会委員名簿

(任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日)

(順不同・敬称略)

NO	氏名	所属等	備考
1	末松 史彦	前滋賀県人権センター理事長 前聖泉大学教授	
2	浅田 耕也	近江八幡市 文化振興課長	
3	白寄 治	県小学校校長会(安土小学校校長)	新 R6. 4. 1～
4	木下 達文	京都橘大学経営学部教授	
5	國賀由美子	大谷大学文学部教授	
6	佐藤 亜聖	滋賀県立大学 人間文化学部教授	
7	岩崎奈緒子	京都大学総合博物館教授	
8	勝身真理子	ミュージアム代表、元滋賀県理事員(男女共同参画 担当)、元県文化財保護課長	
9	鵜飼 裕紀	岐阜関ヶ原古戦場記念館 主査学芸員	
10	西川 邦臣	京都新聞滋賀本社滋賀北部総局長	新 R6. 10. 1～

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会設置要領

第1条 (目的)

滋賀県立安土城考古博物館（以下「博物館」という。）の運営等に関する基本的事項について意見交換するため、滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

第2条 (協議事項)

懇話会は次の事項について協議する。

- 1 博物館の運営に関する基本的事項に関すること。
- 2 博物館活動事業の企画・立案に関すること。
- 3 その他博物館運営に関する必要な事項。

第3条 (構成等)

- 1 懇話会の委員は、10人以内で次に掲げるうちから博物館長が委嘱する。
 - (1) 学識経験者
 - (2) その他館長が適当と認める者
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残存期間とする。

第4条 (座長)

- 1 懇話会に座長を置く。
- 2 座長は委員の互選による。
- 3 座長は懇話会を代表し、会務を掌理する。
- 4 座長に事故あるときは、座長の指名により座長代理を置くことができる。

第5条 (招集)

懇話会の招集は博物館長が行い、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

第6条 (庶務)

懇話会の庶務は博物館において処理する。

第7条 (雑則)

その他懇話会の運営に必要な事項は、別に定める。

付則

- 1 委員の任期は、2年を超えない範囲における年度末をもって終了とする。
- 2 この要領は、平成5年7月20日から施行する。

令和6年度

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会資料

目 次

1. 入館者状況	1
2. 前回の運営懇話会における主な意見とその対応状況	2
3. 令和6年度事業の実施状況	3
4. 令和7年度事業計画（案）	8
5. 博物館アンケート結果	13
令和6年度春季特別展「稀品・逸品」	
6. 安土城考古博物館のリニューアルについて	18

次第

座席表

運営懇話会委員名簿

運営懇話会設置要領

令和5年度年報

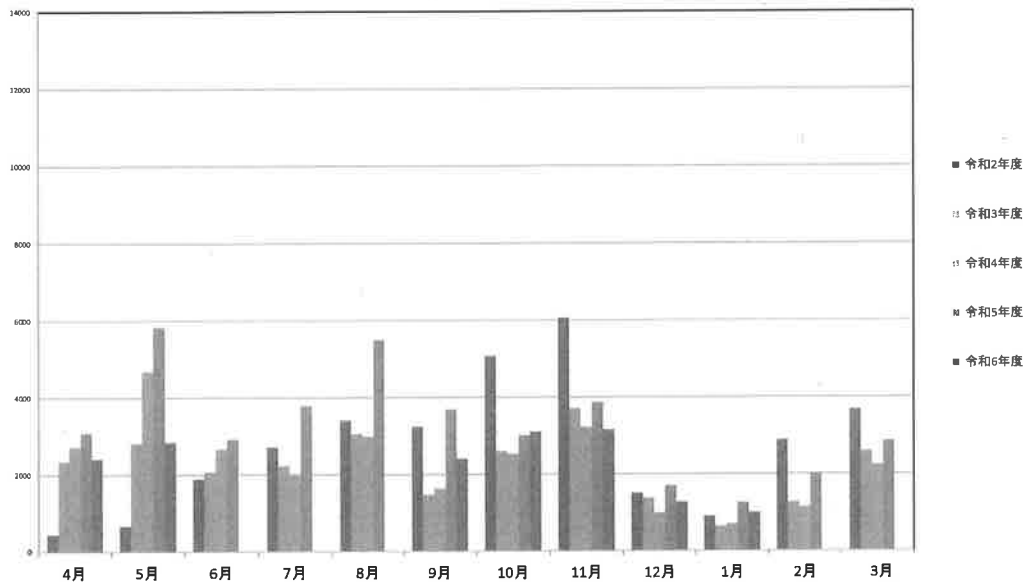
1. 滋賀県立安土城考古博物館入館者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
平成4年度								28,271	5,128	4,066	4,204	6,000	47,669
平成5年度	9,771	12,560	7,260	5,755	8,356	5,834	9,130	9,425	1,789	1,236	2,307	4,495	77,918
平成6年度	6,157	12,338	10,118	7,137	9,444	6,769	11,118	10,925	1,657	1,488	2,615	4,730	84,496
平成7年度	7,322	12,939	7,115	5,394	7,684	4,928	11,715	7,982	1,420	1,654	2,517	4,985	75,645
平成8年度	5,349	9,305	6,305	4,336	7,395	5,794	9,319	6,807	1,939	3,377	1,566	2,995	64,477
平成9年度	4,081	4,531	4,867	3,162	4,923	4,331	6,921	5,203	1,013	803	1,786	2,331	43,952
平成10年度	4,908	6,938	3,301	3,805	7,053	3,884	6,252	5,742	1,326	1,497	1,645	3,490	49,841
平成11年度	5,370	7,591	4,068	4,356	6,656	3,886	7,567	6,668	1,619	1,468	1,858	3,070	54,177
平成12年度	5,700	6,139	4,066	2,910	5,270	4,167	6,445	5,148	1,521	1,033	1,934	2,812	47,145
平成13年度	4,287	7,181	4,461	3,230	7,608	5,675	4,946	5,919	1,652	1,756	2,363	3,904	52,982
平成14年度	5,269	8,601	5,343	4,153	8,451	6,053	7,284	6,292	1,471	1,606	1,627	2,869	59,019
平成15年度	3,857	5,464	4,300	3,800	6,564	4,017	5,880	6,072	1,401	1,566	1,909	3,130	47,960
平成16年度	4,006	6,195	5,184	3,619	7,007	4,228	5,338	4,575	1,612	1,554	1,979	3,239	48,536
平成17年度	3,933	5,127	2,606	3,827	6,045	3,742	6,018	4,849	1,101	1,304	1,892	3,478	43,922
平成18年度	4,861	7,782	5,144	5,010	7,442	4,065	6,232	6,352	1,434	1,906	3,430	4,449	58,107
平成19年度	5,038	5,501	3,895	3,570	7,042	4,505	4,912	5,351	1,605	2,083	2,672	4,826	51,000
平成20年度	3,808	4,546	3,481	2,923	5,745	3,413	4,693	5,777	1,433	1,391	2,363	3,857	43,430
平成21年度	3,794	6,337	4,052	3,265	6,539	11,766	8,014	6,513	2,120	2,307	2,196	4,239	61,142
平成22年度	4,226	7,010	4,943	4,088	7,171	4,621	4,864	5,020	1,824	2,157	4,411	5,549	55,884
平成23年度	6,024	8,525	5,704	5,547	9,947	5,407	6,199	5,699	2,426	1,734	1,516	3,117	61,845
平成24年度	4,311	5,579	3,507	4,086	7,779	3,647	4,942	5,032	1,610	1,805	1,992	4,439	48,729
平成25年度	4,654	6,062	3,682	3,141	5,293	3,609	4,313	4,573	1,666	1,299	1,813	3,238	44,343
平成26年度	4,255	6,324	3,501	3,491	6,960	3,060	3,888	4,295	1,279	1,014	1,733	2,790	42,590
平成27年度	4,014	6,131	2,694	3,724	4,978	4,504	3,688	4,130	1,609	2,383	2,282	4,547	44,684
平成28年度	4,853	7,975	3,594	3,176	5,827	3,329	3,793	3,853	1,654	1,049	991	3,616	43,710
平成29年度	3,785	6,244	3,518	3,108	5,666	2,814	3,111	3,713	1,680	1,004	980	3,347	38,970
平成30年度	3,461	4,874	3,135	2,301	4,501	2,819	2,845	3,220	1,276	1,005	1,432	2,969	33,838
令和元年度	4,346	6,878	3,041	2,853	4,910	3,468	4,388	4,702	1,804	1,840	2,103	638	40,971
令和2年度	445	672	1,886	2,714	3,411	3,248	5,082	6,061	1,509	899	2,891	3,681	32,499
令和3年度	2,355	2,818	2,076	2,230	3,058	1,472	2,603	3,710	1,380	643	1,271	2,601	26,217
令和4年度	2,732	4,690	2,677	1,985	2,991	1,643	2,539	3,229	996	705	1,140	2,236	27,563
令和5年度	3,086	5,826	2,918	3,785	5,497	3,694	3,025	3,871	1,697	1,259	2,023	2,861	39,542
令和6年度	2,409	2,652	0	0	0	2,418	3,113	3,160	1,277	1,006			16,235
累計	142,467	211,535	132,442	116,471	198,213	136,810	180,177	202,139	64,928	51,897	67,431	114,528	1,608,038

22,345人

73%
(対R3比)

平均 (H5~) 4,452 6,610 4,138 3,639 6,194 4,275 5,630 6,125 1,664 1,572 2,043 3,470



2. 前回の運営懇話会(令和6年3月14日開催)の意見への対応状況

NO	主な意見	発言者	対応状況
1	<p>◇博物館の役割</p> <p>①収蔵品を研究者が見たり、貸し出すことも学芸員の実績。入館者数だけではなく、収蔵品の利用状況や作成した紀要、成果発表など、バックヤードを見える化することが、博物館の役割であり、この会議で報告すべき。</p> <p>②博物館は公開することと同時に収蔵品を保存、修復することも大きな仕事。修理した収蔵品や修理予算についても報告すべき。</p>	<p>岩崎委員 佐藤委員</p> <p>國賀委員</p>	<p>①従来から資料貸出実績および資料特別利用状況として年報で報告しているところ。引き続き入館者数だけではなく、問合せの記録などバックヤードの見える化に努めたい。</p> <p>② 収蔵品の保存、修理は博物館の重要な業務であるとの認識のもと、今回のご意見を踏まえ、令和5年度年報から「資料保存」の項目で報告したところ。</p>
2	<p>◇入館者増への取り組み</p> <p>①関ヶ原古戦場記念館と連携し、SNS等を活用して、来館者の掘り起こしができるのではないかと。</p> <p>②近江八幡市として館へのアクセス改善のため、八幡地域と安土地域の連携は課題と認識している。</p> <p>③若い世代に対し、どのようなメッセージを伝えたいのか、また工夫したことはあるのか。博物館を知ってもらうために懇話会の情報も公開すべきではないかと。</p> <p>④考古は地味で見せ方が難しいので、一般向けに、学芸員イチオシの資料等を新聞で紹介したい。</p>	<p>鵜飼委員</p> <p>坂田委員代理</p> <p>勝身委員</p> <p>佐分利委員</p>	<p>①令和6年11月から令和7年3月まで関ヶ原古戦場記念館において広報物を配架し、動画も放映している。令和7年度については今後協議するが、引き続き連携を図っていきたい。</p> <p>②安土観光ネットワーク会議等での協議を踏まえ、近江八幡市へ要望している。</p> <p>③若い世代に対しては、SNS発信の強化やリニューアルに併せたHPの改修により対応するとともに小学校校長会でもPRしてきたところ。また、当懇話会の情報については、ご意見を踏まえ昨年度からHPで公開している。</p> <p>④春の特別展では各時代のイチオシ資料を展示、特別陳列ではテーマを絞って展示し、それぞれ新聞でわかりやすく紹介いただいた。</p>
3	<p>◇展示改修関係</p> <p>①近江風土記の丘の中心施設として設置された博物館であり、考古資料の展示の機会を縮小することのないよう本来担っていた機能を果たされたい。</p> <p>②県は観光のために考古を粗末にしているのではなく、文化財をどのように維持していくかのPRが必要</p> <p>③シアターは何年後かに更新が必要。更新は博物館の利益では賄えないが、今後の計画はあるのか。</p>	<p>佐藤委員</p> <p>岩崎委員</p> <p>岩崎委員</p>	<p>①令和6年度のリニューアル工事中は、企画展示室で考古の常設展示を実施するとともに、特別陳列で考古資料を展示。令和7年度は12月から考古を中心とした展示を実施予定。</p> <p>②県の埋蔵文化センターのあり方検討の中で議論されていると仄聞している。</p> <p>③時間が経てば内容が陳腐化することを危惧しており、県に対して要望している。</p>

3. 令和6年度事業の実施状況（4月～2月）

1 展示事業

（1）特別展

春季特別展「稀品・逸品－滋賀県出土の指定文化財を中心に－」

県内遺跡から出土した考古資料の中から、大岩山銅鐸や新開古墳出土品などの重要文化財、県指定文化財の相谷熊原遺跡出土品や大中の湖南遺跡出土品、市の指定文化財など、滋賀県のみならず日本の歴史を考えるうえでも貴重な旧石器時代から近世の稀品・逸品を紹介しました。

展覧会期：令和6年4月27日（土）～5月26日（日） 27日間

共 催：京都新聞

入館者数：2,829人

関連行事：春季特別展関連講座（全2回）

5月11日（土）「大岩山銅鐸と近江の弥生社会」 中止

講師：伊庭功氏（当館前学芸課長）

5月18日（土）「新開古墳にみる古墳時代の変化」 受講者 24人

講師：細川修平氏（滋賀県文化スポーツ部）

秋季特別展

リニューアル工事のため開催なし

（2）企画展

リニューアル工事のため開催なし

（3）考古常設展

考古資料を展示する第1常設展示室がリニューアル工事により閉鎖するため、その代替として、第1常設展示室の考古資料を企画展示室で展示しています。なお、第2常設展示室は従来の展示を行っています。

展覧会期：令和6年9月3日（火）～令和7年4月13日（日）

（4）特別陳列・特別公開（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ：企画展示室、Ⅳ・Ⅴ：第2常設展示室、Ⅵ：望楼下）

Ⅰ 近江の遺跡発掘成果①「古代国家と鉄－近江国府跡青江遺跡の鍛冶工房－」

会期：令和6年9月26日（木）～10月31日（木）

内容：近江国の古代の鉄器生産に関連する青江遺跡出土資料を展示紹介しました。

Ⅱ 近江の遺跡発掘成果②「古代のお金」

会期：令和6年11月1日（金）～令和6年12月3日（火）

内容：県内出土の無文銀銭や皇朝十二銭を展示紹介しました。

Ⅲ 近江の遺跡発掘成果③「中世のお金」

会期：令和6年12月4日（水）～令和7年2月4日（火）

内容：中国や朝鮮から輸入された県内出土の渡来銭を展示紹介しました。

IV 「信長とその息子たち」

会期：令和7年2月5日（水）～3月18日（火）

内容：館蔵資料のなかから、信長の息子たちに関する資料を展示紹介しました。

V 令和6年度新収資料特別公開「中津井文書と柴田勝家」

会期：令和6年11月1日（金）～12月27日（金）

内容：今年度寄託を受けた柴田勝家文書2通と収蔵する勝家関係資料を展示紹介しました。

VI 速報展示「再発見 明智光秀寄進状」

会期：令和7年1月7日（火）～2月4日（火）

内容：琵琶湖文化館の協力により、大津市の聖衆来迎寺で再発見された「明智光秀寄進状」を展示紹介しました。

(5) でかける博物館 in 安土城考古博物館「地震と考古学 応神天皇陵古墳に見える地震災害の痕跡と後世の祭祀」

会期：令和7年1月25日（土）～2月24日（月・祝）

会場：企画展示室

内容：大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画で、近つ飛鳥博物館所蔵の応仁陵外堤出土の笠形木製品や河内名所図を展示紹介していただいています。

*なお、当館は近つ飛鳥博物館において、**でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館「地震と考古学 湖底遺跡と地震跡」**（会期：令和7年1月18日（土）～2月16日（日））と題して、高島市針江浜遺跡出土の土器、鳥形木製品、噴砂剥ぎ取りを展示紹介しています。

2 講座事業

(1) 連続講座Ⅰ「古代国家と近江の鉄」全4回

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに古代国家を支えた近江の鉄生産について解説しました。

第1回 9月28日（土）「『古代国家と近江の鉄』キックオフ講座」

講師：大道和人（当館学芸員） 受講者 66人

第2回 10月5日（土）「前方後円墳体制と栗太の鉄」 受講者 44人

講師：近藤広氏（栗東市スポーツ協会文化財調査課）

第3回 10月12日（土）「継体大王・藤原氏と高島の鉄」 受講者 64人

講師：宮崎雅充氏（高島市商工観光部観光課）

第4回 10月19日（土）「藤原仲麻呂政権と近江の鉄」 受講者 59人

講師：山崎公輔氏（大津市市民部文化財保護課）

(2) 連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」（全4回）

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに日本の古代から中世の

お金の歴史や文化を解説しました。

第1回	11月 2日 (土)	「無文銀銭とは何かー貨幣の誕生ー」	受講者	12人
		講師：内田保之 (当協会)		
第2回	11月10日 (日)	「近江の古代銭」	受講者	16人
		講師：辻川哲朗 (当協会)		
第3回	11月24日 (日)	「滋賀県の銭と祭祀」	受講者	14人
		講師：森田真由香 (当協会)		
第4回	12月 8日 (日)	「近江の渡来銭」	受講者	14人
		講師：小島孝修 (当協会)		

(3) 連続講座Ⅲ「信長家臣たちの苦闘」(全3回)

織田信長の天下布武の過程において、その家臣たちが果たした役割、戦略や人間関係などを解説しました。

講師：太田浩司氏 (淡海歴史文化研究所所長)

第1回	12月21日 (土)	「羽柴秀吉・秀長の中国攻め」	受講者	73人
第2回	1月11日 (土)	「明智光秀の丹波攻め」	受講者	62人
第3回	2月 8日 (土)	「信長家臣団の破綻～山崎合戦から賤ヶ岳合戦への道～」	受講者	人

3 体験学習・ワークショップ等

(1) 史跡探訪・城郭探訪

近江風土記の丘の史跡を活用して、特別史跡安土城跡や、史跡観音寺城跡と桑實寺を案内しながら解説しました。

・城郭探訪「安土城跡」①	5月12日 (日)	参加者	4人
・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」①	5月19日 (日)	参加者	11人
・城郭探訪「安土城跡」②	5月25日 (土)	参加者	3人
・城郭探訪「安土城跡」③	10月 6日 (日)	参加者	6人
・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」②	10月20日 (日)	参加者	4人

(2) 家族で楽しむ！秋の体験博物館 「勾玉作り体験」

10月13日 (日)・14日 (月・祝) に当協会開催の「あの遺跡は今」と同時開催しました
参加者 64人

4 その他の事業

(1) 京都新聞との春季特別展共同開催

春季特別展の共同開催をはじめ、逐次広報をするなど誘客を図りました。

(2) 岐阜県イベントへのブース出展

10月19日 (土)・20日 (日) に開催された「大関ヶ原祭り2024」(累計入場者数約8万人) に出展し、当館広報物を配布してPRを行い、誘客を図りました。

(3) 岐阜関ヶ原古戦場記念館へのブース出展

1月8日(金)から令和7年3月30日(日)まで、当館をPRし誘客を図るために、岐阜関ヶ原古戦場記念館のエントランスホールに出展し、ポスター掲示、チラシ配架、映像放映を行っています。

(4) 市町主催講座への出講

東近江市生涯学習講座「歴史講座」(上半期:5回、下半期:5回)等に出講しました。

5 博学連携事業

(1) 博物館実習生の受け入れ

① 日程:令和6年8月26日(月)から8月30日(金)までの5日間

実習生:11名(滋賀県立大学3名、京都文教大学1名、京都橘大学2名、大谷大学1名、追手門学院大学2名、大阪市立大学1名、山口大学1名)

② 日程:令和7年1月8日(木)

実習生:30名(滋賀県立大学)

(2) 学校支援活動

学校の来館学習における体験学習メニュー(火起こし、土器に触れよう、勾玉作り)を実施したほか、職場体験の受け入れを行いました。

日時	学校名	人数	引率	内容
5月8日(水)	大阪大学考古学研究室	27人	5人	展示見学・解説
5月9日(木)	安土中学校1年生	110人	11人	展示見学
5月10日(金)	武佐小学校6年生	29人	4人	展示見学・火起こし
5月12日(日)	奈良大学	21人	—	展示見学
5月16日(木)	老蘇小学校6年生	22人	2人	展示見学・火起こし
5月18日(土)	同志社大学神学部	7人	—	展示見学
5月24日(金)	草津小学校6年生	91人	6人	展示見学・火起こし・土器に触れよう
5月24日(金)	レイカディア大学	11人	—	展示見学・解説
9月12日(木)	武蔵野大学	9人	1人	展示見学
10月9日(水)	愛知川東小学校6年生	60人	4人	展示見学
10月17日(木)	中主小学校6年生	32人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月18日(金)	桐原東小学校6年生	63人	5人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月18日(金)	島小学校6年生	17人	4人	展示見学
10月22日(火)	中主小学校6年生	33人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月25日(金)	湖東第二小学校6年生	19人	2人	展示見学・土器に触れよう
10月26日(土)	国際情報高校2年生	1人	1人	展示見学・解説・取材
10月29日(火) ~31日(木)	能登川中学校2年生	5人	—	職場体験
10月31日(木)	甲南第3小学校6年生	9人	2人	展示見学・火起こし
11月1日(金)	中主小学校6年生	32人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
1月21日(火)	八日市南小学校 年生	人	人	
2月7日(水)	八日市北小学校 年生	人	人	

598人 53人

(3) 県小学校長会役員研修会

日程：令和6年11月26日（火） 15名

今後の学校の来館学習に資するため、展示や体験学習について説明等を行いました。

(4) 自閉症支援のための実践セミナー（滋賀県発達障害者支援センター主催）

日程：令和7年2月26日（水）・27日（木）

発達障害の方の来館学習に資するため、滋賀県発達障害者支援センターが主催するセミナーに会場（会議室、セミナールーム）を提供します。

6 リニューアル後の博物館

県が実施する展示リニューアルについて県と連携し、リニューアル後の博物館の運営等の検討、準備を行っています。

また、リニューアルに併せ、シアターの予約システムをはじめ見やすくするため、ホームページを改修しています。

4. 令和7年度事業計画（案）

1. 基本方針

近隣施設や県立施設等との連携のもと入館者数の確保を進めるとともに、地域に親しまれる博物館運営に努めます。

① 常設展示リニューアル後の対応

- ・新導入システムへスムーズに対応できる体制の構築
- ・図録・リーフレット等の改訂
- ・動画配信、SNS 配信
- ・館蔵資料のデジタル公開

② 安土城築城 450 年事業に即した事業展開と関係施設等との連携

- ・城郭をテーマとした令和7・8年度特別展の開催
- ・県・地元・関係施設との連携

③ 関連施設との連携と情報発信

- ・学校や地域との連携と積極的な受け入れ
- ・「紫香楽宮史跡指定 100 年」に伴う関連施設との連携企画
- ・滋賀、岐阜、福井 3 県連携

④ 次期指定管理に向けての情報収集と人材育成

- ・県との情報交換
- ・自主事業（旅行会社との連携、探訪トレイル等）の人材育成

2. 具体的な取り組み

(1) 展覧会事業

春季特別展 安土城築城 450 年・発掘調査 85 周年

「安土城・2025—信長の夢のあと—」

展覧会期：令和7年4月26日（土）～6月15日（日）

内 容：織田信長が築城した安土城は、本能寺の変の後、落城し、天主は焼失し、その後廃城となります。これまでは築城から落城までの安土城にスポットが当てられてきましたが、本展では廃城後の安土城の変遷、また昭和、平成、令和の発掘調査の成果を紹介します。

展示資料：安土城跡出土資料、「安土山下町中掟書」（重要文化財）など

関連行事：特別展関連講座

① 5月10日（土）「廃城から昭和の調査まで」

佐藤佑樹（当館学芸員）

② 5月24日（土）「平成の調査」

岩橋隆浩氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）

③ 5月31日（土）「令和の調査と今後の展望」

松田篤氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）

第70回企画展「紫香楽と信楽一宮の造営と焼き物の歴史」

展覧会期：令和7年7月19日（土）～9月23日（火・祝）

内 容：信楽では、聖武天皇によって大仏が造られ始め、紫香楽宮が営まれました。その後、鎌倉時代には日本六古窯のひとつである信楽焼が始まります。本展では、紫香楽宮の全体像と信楽焼の成立と発展をテーマに古墳時代から安土・桃山時代までの歴史をたどります。

* 本展は、滋賀県立陶芸の森、信楽窯業技術試験場との連携企画。

展示資料：紫香楽宮跡（宮町地区、内裏野地区、鍛冶屋敷地区）出土資料、春日北遺跡出土資料、阿弥陀寺遺跡出土資料など

関連行事：シンポジウム「紫香楽宮（仮）」 8月9日（土）

講師：神野恵氏（奈良文化財研究所）

小谷徳彦氏（甲賀市教育委員会歴史文化財課）

細川修平氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）

大道和人（当館学芸員）

企画展関連講座 8月30日（土）

「甲賀の焼物の歴史（仮）」伊藤航貴氏

（甲賀市教育委員会歴史文化財課）

ワークショップ①「土器を作ろう（仮）」8月10日（日）

②「土器を焼こう（仮）」9月13日（土）

秋季特別展「天下人の城 安土城」

会 期：令和7年10月11日（土）～11月16日（日）

内 容：信長が天下人の立場で建てた安土城は、築城後10年を待たずに焼失してしまったため、いまだにその具体的姿は解明できていません。残されたわずかな資料を集め、築城の歴史的背景を考えると共に、建築に関わったとされる諸職人の手による作品などから、在りし日の姿を推測する手がかりを探ります。

展示資料：織田信長画像・近江国蒲生郡安土古城図（摠見寺蔵）、羽柴秀吉自筆書状（個人蔵）、伝狩野松栄筆三十六歌仙図絵馬（多賀大社蔵）、阿閉貞征・同貞大連署書状（須賀神社蔵）などを予定。

関連行事：記念対談 10月18日（日）

講師：藤田達生氏（三重大学名誉教授）

稲葉継陽氏（熊本大学教授）

シンポジウム 10月19日（日）

会場：コラボしが21、主催：文化財保護課

講師：藤田達生氏・稲葉継陽氏・金子拓氏・柴裕之氏
福島克彦氏・天野忠幸氏・松下浩氏・高木叙子

第7 1回企画展「近江は道の国（仮）」

会 期：令和8年2月14日（土）～令和8年4月5日（日）

内 容：古代より畿内と他地域を結ぶ交通の要衝であった近江国について、
その特色や重要性を考古資料や絵画、古文書を通じて紹介します。

展示資料：江州蒲生郡豊浦村与須田村山論立合絵図（個人蔵）、琵琶湖図（琵琶湖文化館蔵）、木曾路名所図会（当館蔵）などを予定。

関連行事：企画展関連講座やミュージアムトークを予定

特別陳列（望楼下、企画展示室、第2常設展示室で開催予定）

I 特別陳列・地域連携企画展「明智光秀と近江（仮）」

会 期：令和7年6月3日（火）～8月3日（日）

会 場：第2常設展示室

内 容：当館と琵琶湖文化館の明智光秀文書を展示紹介します。

関連講座：6月14日（土） 「中世都市坂本と明智光秀の築城」

福島克彦氏（大山崎町歴史資料館館長）

*滋賀県立琵琶湖文化館との連携企画。

II 特別陳列「城郭出土の笏谷石」

会期：令和7年6月17日（火）～令和7年7月19日（土）

会場：望楼下

内容：県内の城郭から出土した越前産の笏谷石製品を展示紹介します。

III 特別陳列「江戸時代の信楽焼①（仮）」（陶芸の森との連携企画）

会期：令和7年10月～11月（予定）

会場：望楼下

内容：未定

*陶芸の森との連携企画

IV 特別陳列「縄文・弥生・古墳時代の近江」

会期：令和7年11月29日（土）～令和8年2月1日（日）

会場：企画展示室

内容：館蔵品を中心に、県内出土の縄文・弥生・古墳時代の資料を展示紹介します。展示資料は、これまで第1常設展示室で展示していた資料、模型や複製品を活用します。

V 特別陳列「江戸時代の信楽焼②（仮）」

会場：望楼下

内容：未定

*陶芸の森との連携企画

***陶芸の森との連携企画**

でかける博物館 in 安土城考古博物館

会期：未定

会場：望楼下もしくは企画展示室

内容：詳細未定

*大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画。当館は近つ飛鳥博物館で展示。

発掘調査速報展

会期：随時

会場：エントランスホール

内容：当協会が実施した発掘調査の成果を紹介します。

(2) 講座事業

連続講座シリーズⅠ「近江の城郭」(全4回)

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに近江の城郭の特徴、技術、出土品などについて解説します。

第1回 6月 7日(土)「坂本城跡発掘調査の最新成果」

岡田有也氏(大津市市民部文化財保護課)

第2回 6月21日(土)「中世近江の採石と城」(仮)

渡邊貴洋氏(野洲市教育委員会文化財保護課)

第3回 7月 5日(土)「発掘調査成果からみた境目の城」

石田雄士氏(米原市教育委員会生涯学習課)

第4回 7月19日(土)「笏谷石と近江の城」

古山明日香氏(長浜市市民協働部生涯学習課)

連続講座シリーズⅡ「未定」(全3回) 特別陳列Ⅳと関連する内容

連続講座シリーズⅢ「未定」(全3回) 戦国時代をテーマとする内容

協会本部が実施する連続講座のサテライト会場

当館セミナールームを協会本部とオンラインで結ぶサテライト会場として、受講希望者のニーズに応えます。

(3) その他の催し物

城郭トレイル

近江風土記の丘の史跡を活用して、特別史跡安土城跡や、史跡観音寺城跡と桑實寺を案内・解説します。

城郭トレイル①「観音寺城跡と桑實寺」	4月27日(日)
城郭トレイル②「安土城跡」	5月11日(日)
城郭トレイル③「観音寺城跡と桑實寺」	11月(予定)
城郭トレイル④「安土城跡」	11月(予定)

体験博物館

- ・家族で楽しむ!夏の体験博物館「勾玉作り体験」 8月24日(日)
 - ・家族で楽しむ!秋の体験博物館「土器を作ろう」 11月(予定)
- 当協会主催の「あの遺跡は今!」と同時開催

(4) その他の事業

刊行事業

- ・学芸員の調査研究成果をまとめた「紀要」の刊行
- ・「年報」の刊行
- ・博物館だより「おおてみち」の刊行(年4回)
- ・「催し物案内」の刊行
- ・リニューアル後に対応する各種案内リーフレットの改訂

広報・情報発信

- ・SNSによる情報発信
フェイスブックやインスタグラムによる硬軟織り交ぜた情報の発信により、フォロワーの増加を目指します。
- ・美の魅力発信5館連携ネットワーク
県立5館が連携して情報発信事業を企画、実施します。
- ・滋賀、岐阜、福井の三県が連携した企画を検討、実施
岐阜県観光国際部観光資源活用課、岐阜関ヶ原古戦場記念館と連携して広報・情報発信を強化します。
- ・お城EXPOとの連携
あづちマリエート・文芸セミナリヨで開催が予定されているお城EXPOとの連携を予定しています。

自主事業

- ・クラブツーリズム「歴史の旅」への講師派遣
- ・東近江市生涯学習講座「歴史ウォーキング」への講師派遣

博物館アンケート 春の特別展 『 稀品・逸品 』

全期間：4/27-5/26

来館者数：3,445人

特別展：2,829人

アンケート回収：444枚

1、入館者の状況

< 県内・県外別 >

	県内	県外	海外	無回答
人数	155	288	0	1
比率	35%	65%	0%	0%

< 都道府県別 >

順位	都道府県名	人数	比率
1	滋賀県	155	35%
2	大阪府	47	11%
3	愛知県	29	7%
	東京都	29	7%
5	京都府	21	5%
6	神奈川県	18	4%
7	三重県	16	4%
8	岐阜県	15	3%
	埼玉県	15	3%
10	兵庫県	11	2%
	その他	86	19%
	無回答	2	0%
	合計	444	100%

< 地方別 >

	人数	比率
北海道・東北	8	2%
関東	82	18%
中部	69	16%
近畿	259	58%
中国・四国	15	3%
九州・沖縄	9	2%
無回答	2	0%
海外	0	0%
合計	444	100%

2 < 年齢別 >

	人数	比率
小学生	17	4%
中学生	16	4%
高校生	3	1%
大学生	5	1%
10代	0	0%
20代	18	4%
30代	39	9%
40代	64	14%
50代	112	25%
60代	93	21%
70代以上	77	17%
無回答	0	0%
合計	444	100%

3 < 性別 >

	人数	比率
男性	262	59%
女性	178	40%
無回答	4	1%
合計	444	100%

4 < 交通手段 >

	人数	比率
J R	100	23%
自家用車	310	70%
バイク	9	2%
徒歩・自転車	11	2%
観光バス	10	2%
無回答	4	1%
合計	444	100%

5 < 来館回数 >

	人数	比率
初めて	306	69%
2～3回目	51	11%
何年かに1回	20	5%
毎年1回	12	3%
毎年2回以上	53	12%
無回答	2	0%
合計	444	100%

6 < 関心のある分野 > 複数回答

	人数	比率
安土・信長・戦国	317	56%
縄文・弥生時代	144	26%
美術工芸	59	10%
その他	31	5%
無回答	13	2%
合計	564	100%

7 < 展示の満足度 >

	人数	比率
満足	268	60%
やや満足	156	35%
やや不満	9	2%
不満	1	0%
無回答	10	2%
合計	444	100%

満足度95%

ナ

8.当館を知った理由(複数回答)

	全国		県内・県外別				地域別					
			県内		県外(その他)		近畿		中部		その他	
1 安土城址に来て	133	27%	18	11%	115	35%	52	18%	32	39%	49	39%
2 信長の館に来て	75	15%	15	9%	60	18%	34	12%	19	23%	22	17%
3 知人・家族	62	12%	26	15%	36	11%	46	16%	7	8%	9	7%
4 ポスター・チラシ	59	12%	41	24%	18	5%	52	18%	3	4%	4	3%
5 当館 催し物案内	22	4%	18	11%	4	1%	20	7%	0	0%	2	2%
6 当館HP	67	13%	21	12%	46	14%	41	14%	7	8%	19	15%
7 当館 YouTube	3	1%	1	1%	2	1%	2	1%	0	0%	1	1%
8 当館 Instagram	4	1%	2	1%	2	1%	3	1%	0	0%	1	1%
9 JAF広告	2	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	2	2%
10 新聞 ※	14	3%	11	6%	3	1%	13	4%	0	0%	1	1%
11 テレビ・ラジオ	4	1%	2	1%	2	1%	4	1%	0	0%	0	0%
12 雑誌・情報誌	38	8%	7	4%	31	9%	14	5%	12	14%	12	9%
13 無回答	17	3%	8	5%	9	3%	9	3%	3	4%	5	4%
総計	500	100%	170	100%	330	100%	290	100%	83	100%	127	100%

※ 新聞詳細

京都	5
読売	1
朝日	1
毎日	1
産経	
中日	
その他	
無回答	6
合計	14

9<展示の満足度> ご意見・ご感想

- ・音声ガイドがあるとわかりやすい
- ・孫(小学生)を連れて時折来ています。今後も社会勉強に活用させて頂きたいと思っています
- ・銅鐸が思ったより大きいのでびっくりしました。遠賀川式土器の横の縞がすてきでした
- ・展示作品がソボクで美しく、美術品の原点なのだと感じました
- ・静かで見やすかった。子供も興味深く見ていました。分かりやすい展示だと思います
- ・大変見やすく展示されていて良かったです。解説文も興味深く、楽しく読ませて頂きました。中央ガラスケースの展示品が照明がガラスケースに反射して見づらい時もありました
- ・もう少し身近に感じられたらよかった。保存のため照明、ガラスケースは仕方ないが「貴重」です感が強く感じられる。本来、先祖なのに、現実感に欠ける。これは個人の想像力の衰退ともいえるが、視覚や聴覚から感じられるとうれしい
- ・初めて聞いた言葉も分かりやすかった。一方で、どこで見つかったのかや、何が推測されたのかがあまりよく分からなかった。見づらい
- ・スタッフさんが親切でした。銅鐸が良かったです
- ・小さい土偶に驚いた。葛籠尾崎湖底遺跡は初めて知ったので、調べてみます
- ・安土城についての動画が良かった。実物大の写真があり、実際の大きさが分かった
- ・継体天皇関連の研究成果をより多く展示いただきたい。近江から天皇の祖先が出ていることに、大変興味を持った
- ・特別展のコンテンツが不足
- ・弥生、縄文、古墳の各時代の重なり、継続年数、弥生と縄文の違いがどうして生まれたか解説が欲しかった
- ・鑑賞時のポイントをもう一つ前面に押し出してほしい。文化財指定時のポイント等
- ・古代の武具の展示が見られて良かったです。また、木簡など貴重な展示がめずらしく、来館の甲斐があった。
- ・本物の銅鐸を見るのが初めてだったので、うれしかった
- ・縄文、弥生の展示が勉強になりました
- ・小学生の子どもと見にやってきました。楽しんでくれたので、博物館を少し理解できたかと思います
- ・県内出土品にたくさん貴重なものがあると知れて勉強になりました。考古品は数で見せる展示が多いように思いますが、今回の展示は1点1点に格をもたせて展示されているのが良かったです。じっくりとモノを見ることができました
- ・県内出土品の数々にまつわるエピソード(標示版)が詳しく、興味を持って拝見しました
- ・滋賀にこんなにたくさんの遺跡があるとは知らなかったなので、興味深かったです
- ・何年にできた事などがたくさん作品に書かれてて、とても分かりやすかった!
- ・指定文化財の考古資料を用いながら、滋賀県の歴史をたどるという展示構成が良かったです。ただ良いモノを並べるというだけではなく、工夫がなされていると感じました
- ・貴重な展示をじっくり拝見させていただきました。特に古代甲冑(兜のはぎ板の板数等)興味をひかれました
- ・ポスターだけ見ると見どころがよくわからなかったですが、実際に見たら面白かったです
- ・もう少しテーマをしぼって展示してほしい
- ・とても見やすく分かりやすかったです。ただ、展示物の案内の文字が小さく感じました(老眼なので…)
- ・常設展はやや照明が暗い。文書等でなければ、明るくしてもよいのではないかと
- ・普段、復元品で展示されている物が、今回の特別展で実物を見ることができたのが良かったです。実物を見て、復元品の精度にも感心させられました

- ・企画展をするスペースが小さく、特別にお金をとるならもっと展示する数を多くしてほしい
- ・織田信長関係の資料をもっと展示してほしい
- ・古い時代のものがわりときれい、すごく形を保っているのに驚きました
- ・戦国、信長ばかりと思って来ました。古墳時代も好きなので満足しています
- ・栗東出土の物が展示されていると聞き興味をもった。滋賀県は住みやすく災害の少ないところで、昔からの生活のいぶきを感じられよかったです
- ・大好きな三角縁神獣鏡が見れて幸せでした。その他の展示品も見れて良かったです。また行きたい！となりました♥
- ・解説パネルが簡潔で読みやすい。まめのぶ解説→子供に対しても読みやすい印象を受けた
- ・古墳について出土品の解説だけでなく、古墳自体についても詳しい説明がほしい
- ・滋賀出土の勾玉や呪物関係をもっと見たいです
- ・古代前年代がよくわからなかった。雪野山古墳、瓢箪山古墳など年代の違い。この地の豪族など全く資料などないのでしょうか？廃寺-崇福寺、滋賀廃寺、穴太廃寺、国庁跡など歴史的背景について、もっと解説があればと思いました
- ・銅鏡の展示物の各々の柄を確認したかったが、黒っぽいので見づらく、出来ればプリント版的な表示があれば良かったかと…
- ・石室に入れるのは良かった
- ・テーマに沿って展示も説明もわかりやすく良かった。体験型テーマではないのはわかりませんが、触れる展示が一つでもあったらもっと良かったと思いました
- ・武具の展示や槍の重さ比べがおもしろかった
- ・なかなか見られない「ホンモノ」に感心しました。保存、管理など大変なご苦労があると思います。ありがとうございました
- ・企画を工夫した方がよい。信長関連の資料や映画上映などとセットにすればよいのでは？
- ・戦国期の展示を目的に来ましたが、古代の遺跡が多くあることが知れ、古代の近江の立ち位置の重要性も知れて楽しめました
- ・もっとたくさんの地図で、どこで出土したものか分かるのいいと思いました
- ・広島に住んでいるので、銅鐸や鉄剣は島根などで見慣れています。滋賀にもたくさんの銅鐸や鉄剣が出土しているのには驚きました
- ・県(市町村)指定の文化財が一度に見られるのは面白いと思う。その中でもどれを選んで展示するのが、とても興味深いです(どんな基準なのかなど)
- ・鎌倉～室町期の収蔵品があれば、特別展を開いてほしい
- ・会場がゆったりしていて良い。「まめのぶくん」の解説が理解を助けていていいと思います
- ・展示物の裏側も鏡などで見れるようになると良いと思います。例…三角縁神獣鏡など
- ・もう少しそれぞれの資料の考察の説明などがあってもよい(誰なのか、何者なのか)
- ・これまでも遺跡を巡っていたが、知らない遺跡についての展示もあり、新しい知識を得て興味深い展示だった
- ・ジュニア向けの解説(まめのぶくん)が、良かったです。大人でも分かりやすい解説を読むことで、より理解できます
- ・短甲の展示は見事だった。解説も分かりやすく、渡来系の副葬品が近江に多く出土されていることがよく分かった
- ・第1展示室で展示されているものの実物を見ることができてよかったです。まめのぶくんの説明も面白く、楽しく見て回れました。今までは戦国時代に主に興味がありましたが、この展示を見て古代の歴史にも興味を持ちました
- ・展示品が少ない。出品リストの名前が短く、展示物とがよく解らない。出土地が現在のどこかよく

解らない。各ブロックにあった方が良い

- ・古墳時代の展示が無くなると聞いて最後にやってきました。名前が「安土城」とうたっているので展示が無くなることは仕方ないと思います。現在の展示がどこかでまた活躍することを祈っています。王様3人が好きでした

10<その他ご意見・今後の希望>

- ・質問をしたい時の案内が欲しい
- ・周囲の広く開けた明るいイメージから一転、暗く感じられる。「ワクワク」がもう少し…職員さんの声ひびき、なんか個人的に↘
- ・解説を増やしてほしい。見づらいところが有ったので見やすくしてほしい
- ・スタンプなどを押せるのが良かった
- ・良い場所にあるけれど、あまり知られていないのが残念。もっと宣伝すると良いと思います
- ・レストランの食事を何とかして欲しい。値段の割にはよくない。家族みんなが、がっかりしてしまった(うつけうどん、カレー)
- ・丁寧な接客でいつも感動しています❀
- ・信長とそのまつわる人々に関わるエピソードの展示企画をしてもらえると、また来館してみたいと思います
- ・普段から使えるTシャツやカバンを充実させてほしい。まめのぶ君グッズがほしい
- ・建物が海外の修道院のようでびっくりしました。考古的な面をもっと強調してもよいかなと思います
- ・佐々木一族の関係の特別展をしてほしい。牛うどん、いつもおいしくいただいております
- ・入場料が少し高い
- ・今日(5/19)は城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」の後に観覧しました。瓢箪山古墳をテーマにした探訪があれば、再び参加したいです
- ・大好きな場所なので、このまま存続して行ってほしいです。また来ます
- ・今までの常設展示の古代の部分なくなるのが、非常にもったいないと思う

「幻の安土城」復元プロジェクト 滋賀県立安土城考古博物館展示リニューアル（第1期）

安土城・信長・戦国 魅力発信拠点

目指す姿

安土城と信長・戦国をテーマとする唯一無二の博物館として、その情報・魅力を発信する。

概要

- 第1展示室 安土城天主と同じ八角形の平面に多面スクリーンを用いて、唯一無二の映像空間を目指す。（第一期工事）
- 第2展示室 貴重な実物資料を鑑賞できる展示空間を目指す。（第二期工事）

導入部

ホワイトモデル（地形模型）へのプロジェクションマッピングと壁面へのグラフィックパネル展示により、戦国～信長時代の近江や安土城・城下町の歴史の変遷を説明

ドラマ仕立てで歴史に興味薄い人でも楽しめる映像

映像タイトル

「織田信長と安土城 ～宣教師ヴァリニャーノが見た天下人の城～」

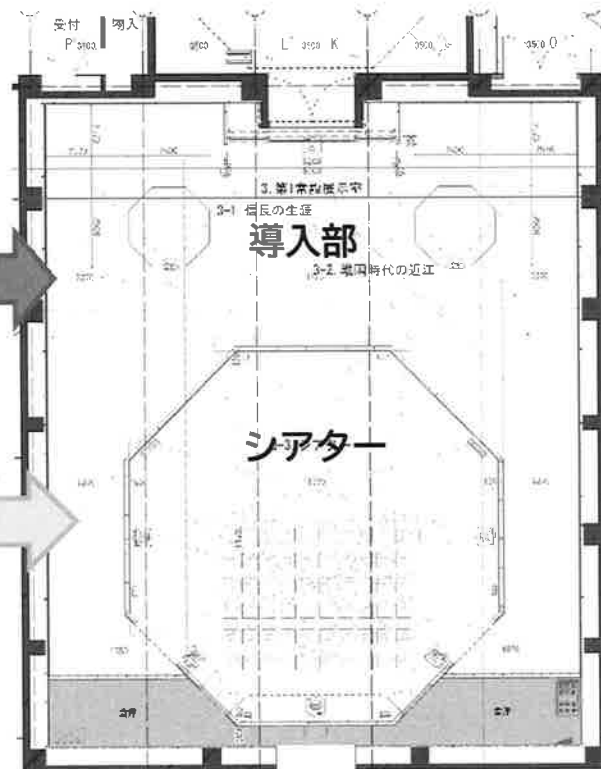
シアター

第1部
（約10分）

織田信長と宣教師ヴァリニャーノが対話する形式でストーリーが進行
天下人への歩みや安土選定の理由、安土城築城の意義を信長が語る。

第2部
（約5分）

Q & A形式でストーリーが展開
天主復元研究の最新の状況、安土山図屏風等関連資料の現存状況、安土城跡発掘調査の到達点をQ & A形式で分かりやすく説明することにより、安土城へのさらなる興味関心をかきたてる。



第1展示室改修イメージ

令和7年3月18日(火) 一般来場開始

(令和7年3月16日(日) オープンセレモニー・内覧会)